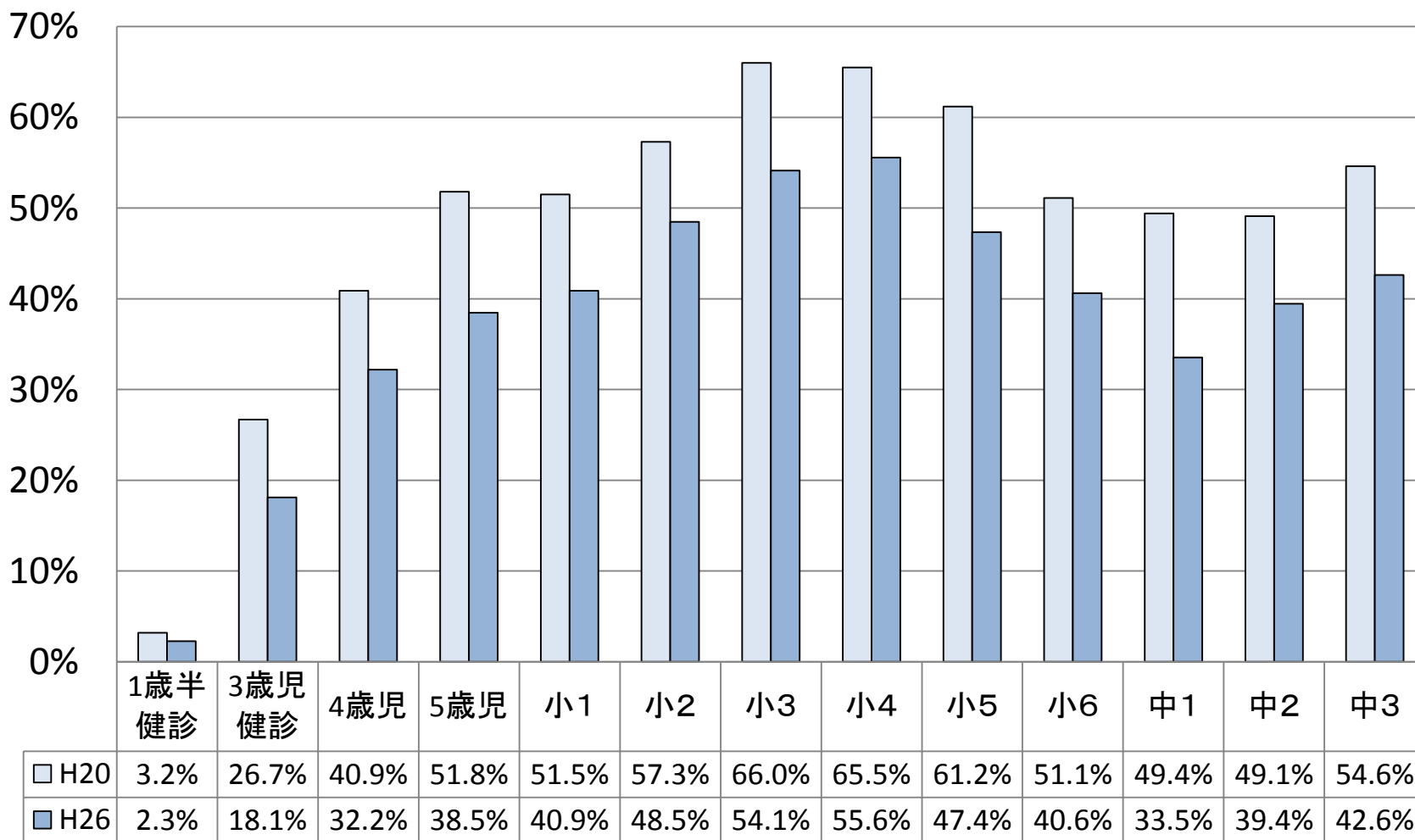


1. 千葉市の幼児期・学齢期におけるう蝕有病者率（H20・H26年度比較）

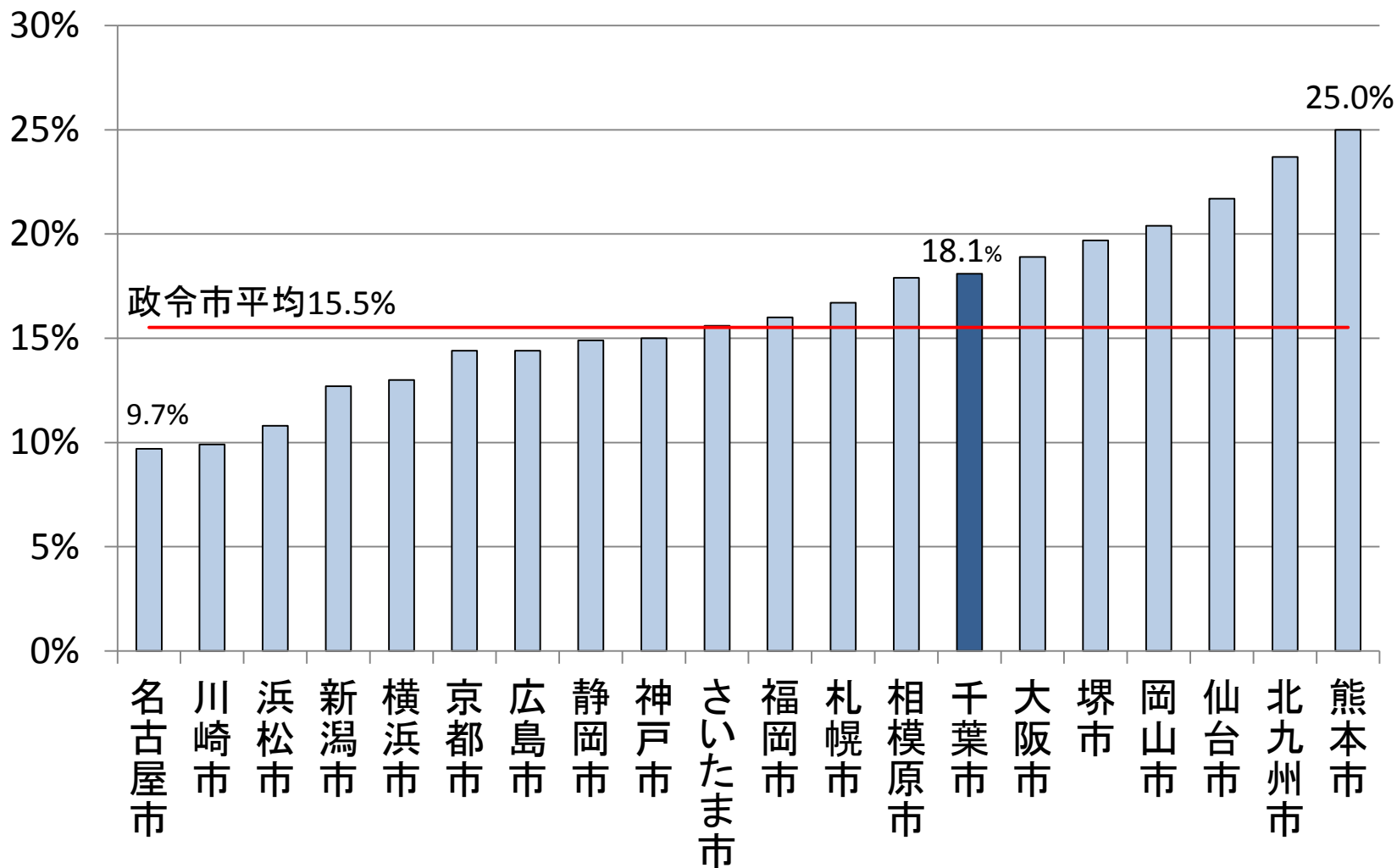
各年齢とも減少しているが、児童・生徒の34～56%はう蝕（むし歯）有病者である。



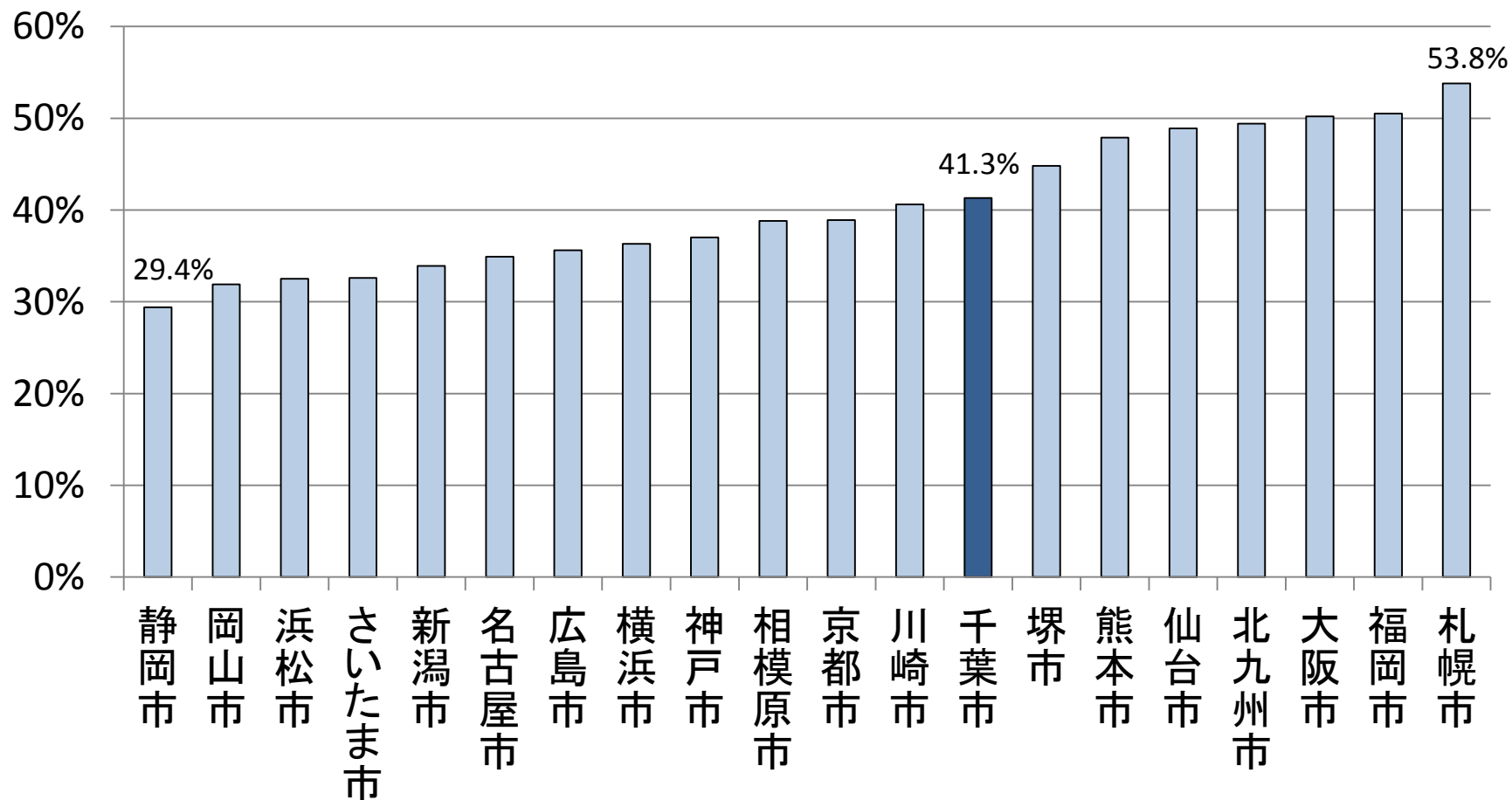
1歳半・3歳：千葉市1歳半・3歳児歯科健康診査結果
 4歳・5歳：千葉市公立保育所の歯科健康診査結果
 小1～中3：「千葉市の保健体育」

2. 3歳児う蝕有病者率(政令市比較) (H26年度)

政令市平均よりも罹患者が多い。



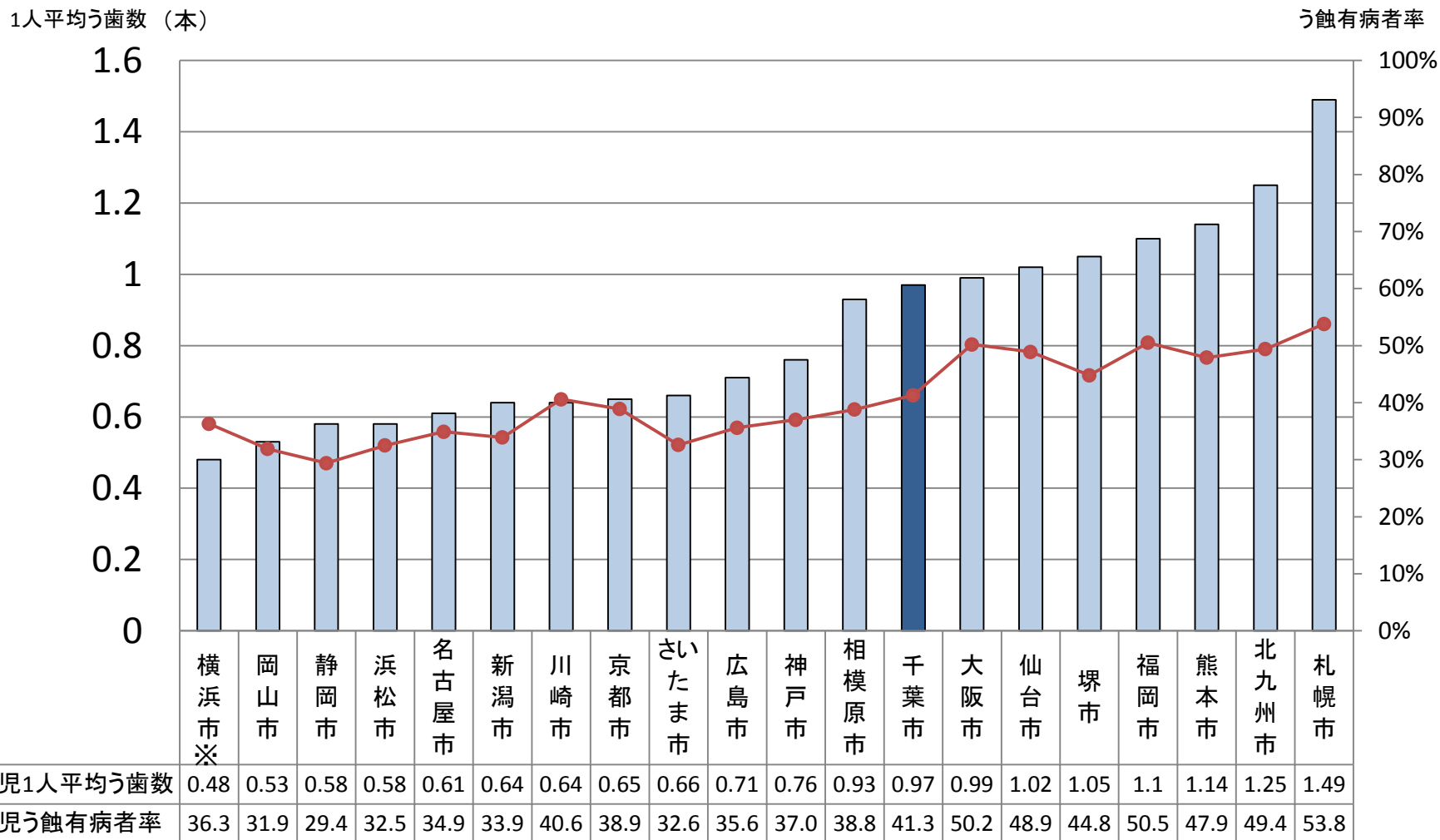
3. 12歳児う蝕有病者率(政令市比較) (H25年度)



※12歳児とは中学1年生のことを指す。

4. 12歳児1人平均う歯数とう蝕有病者率(政令市比較)(H25年度)

※1人平均う歯数とは1人当たりの平均う蝕経験総本数
(処置歯+未処置歯+う蝕による抜歯)

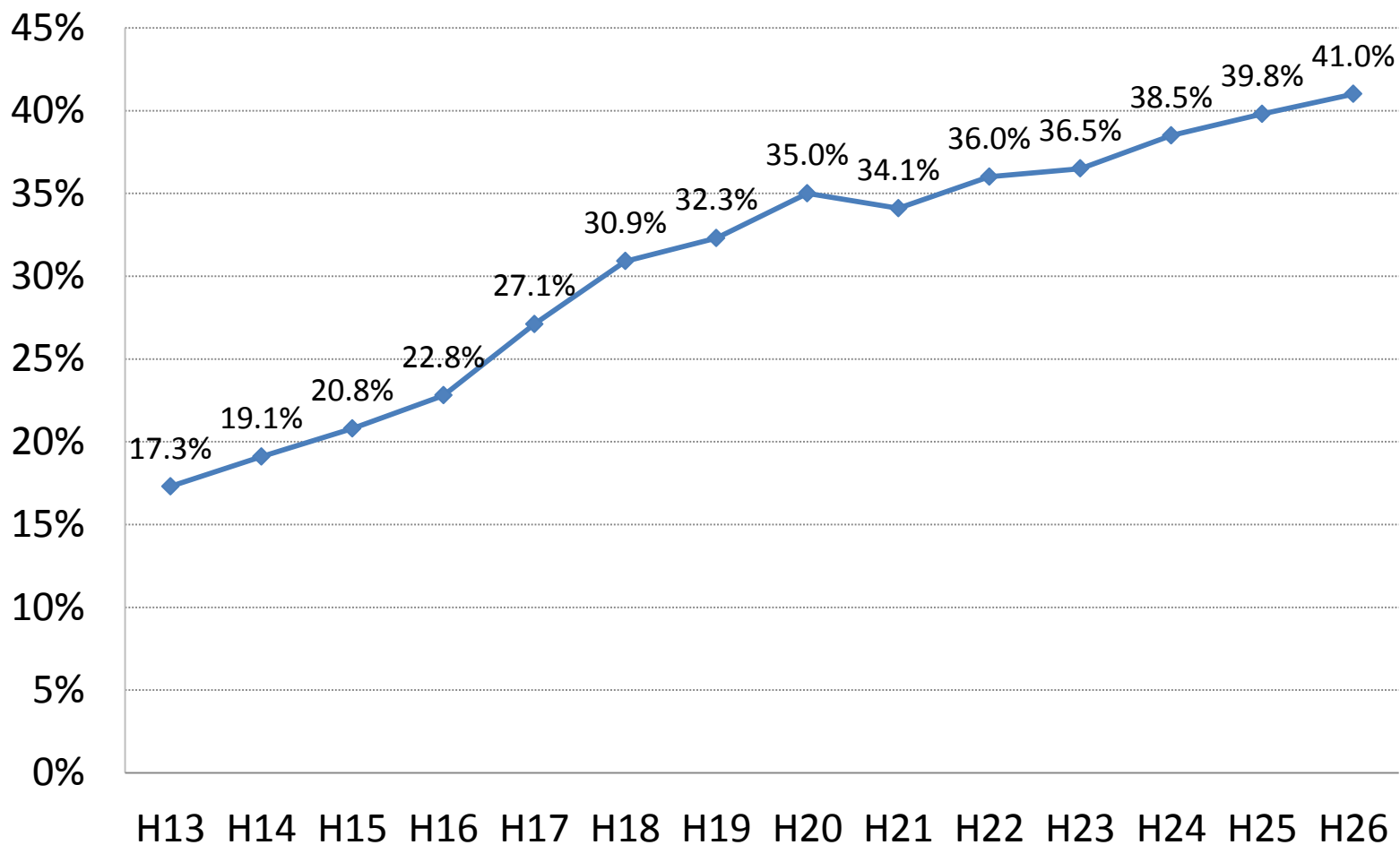


※横浜市1人平均う歯数は小学6年生

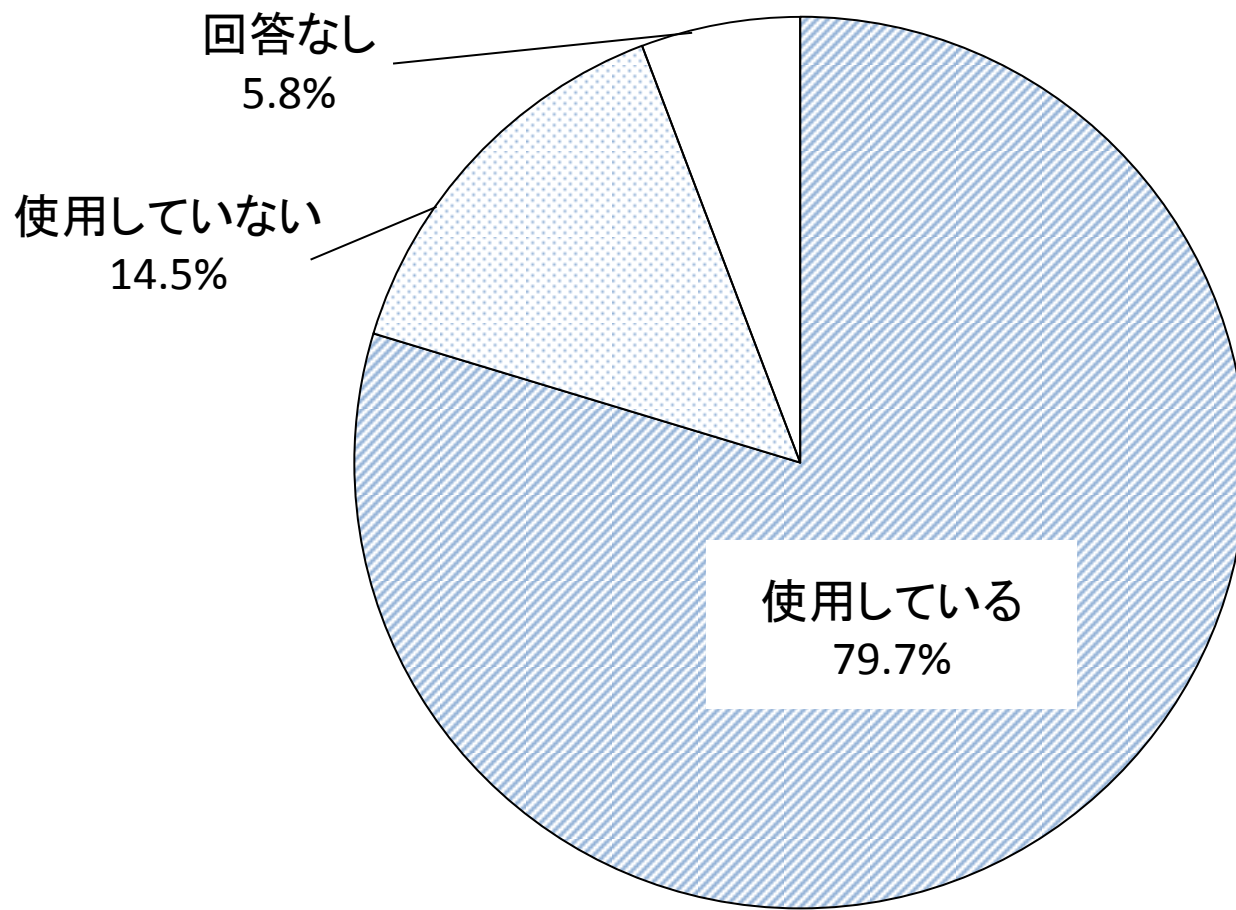
1人平均う歯数：神戸市調査

う蝕有病者率：第65回指定都市学校保健協議会

5. 3歳児のフッ化物歯面塗布経験者の年次推移(H13～H26年度)



6. 3歳児の歯みがき剤の使用について(H26年度)

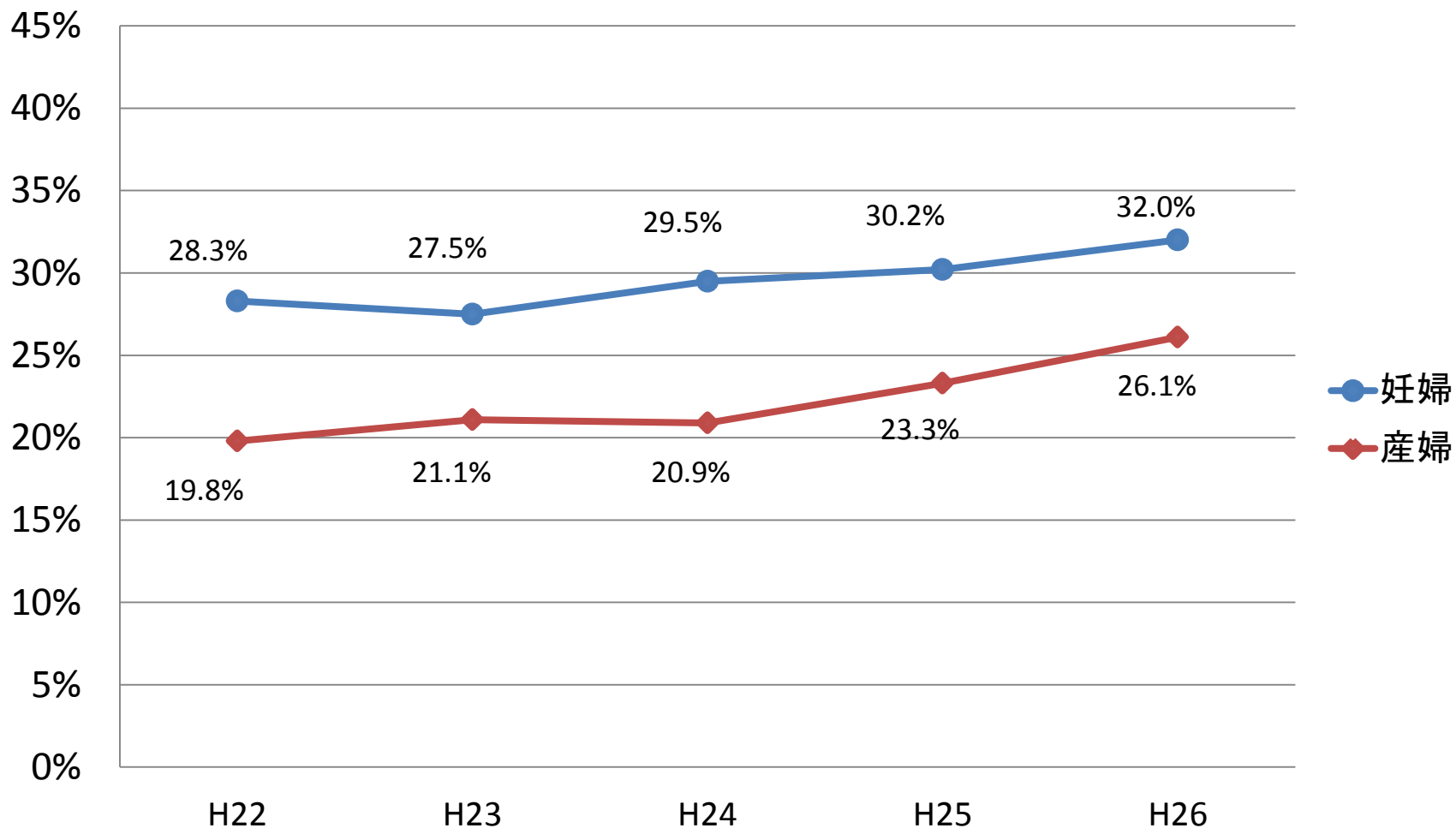


千葉県3歳児歯科健康診査問診票集計結果

※一般的に入手できる歯みがき剤の9割近くのものにフッ化物が配合されている。

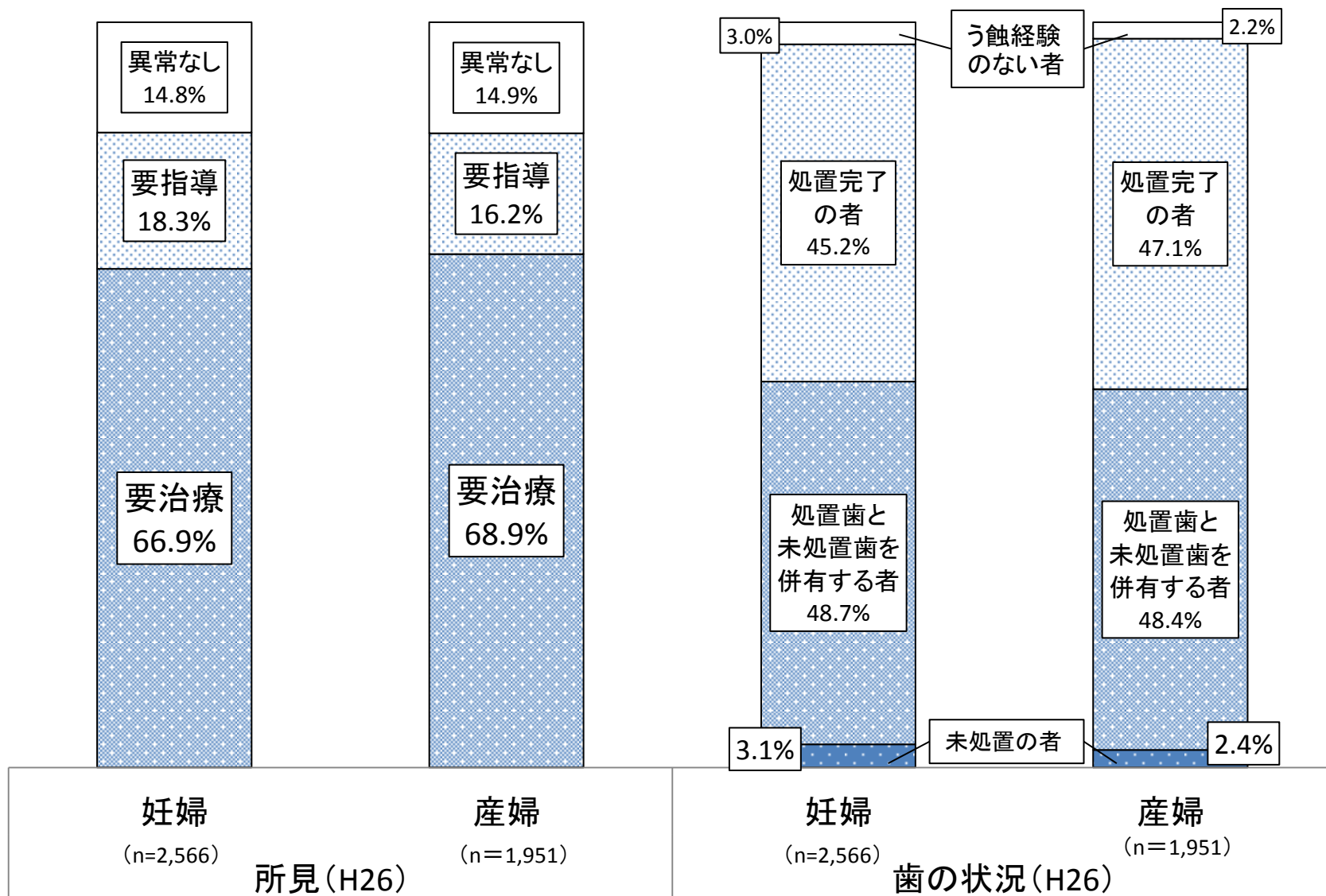
7. 妊産婦歯科健診受診率 年次推移(H22～H26年度)

妊婦・産婦とも受診率はわずかながら増加している。



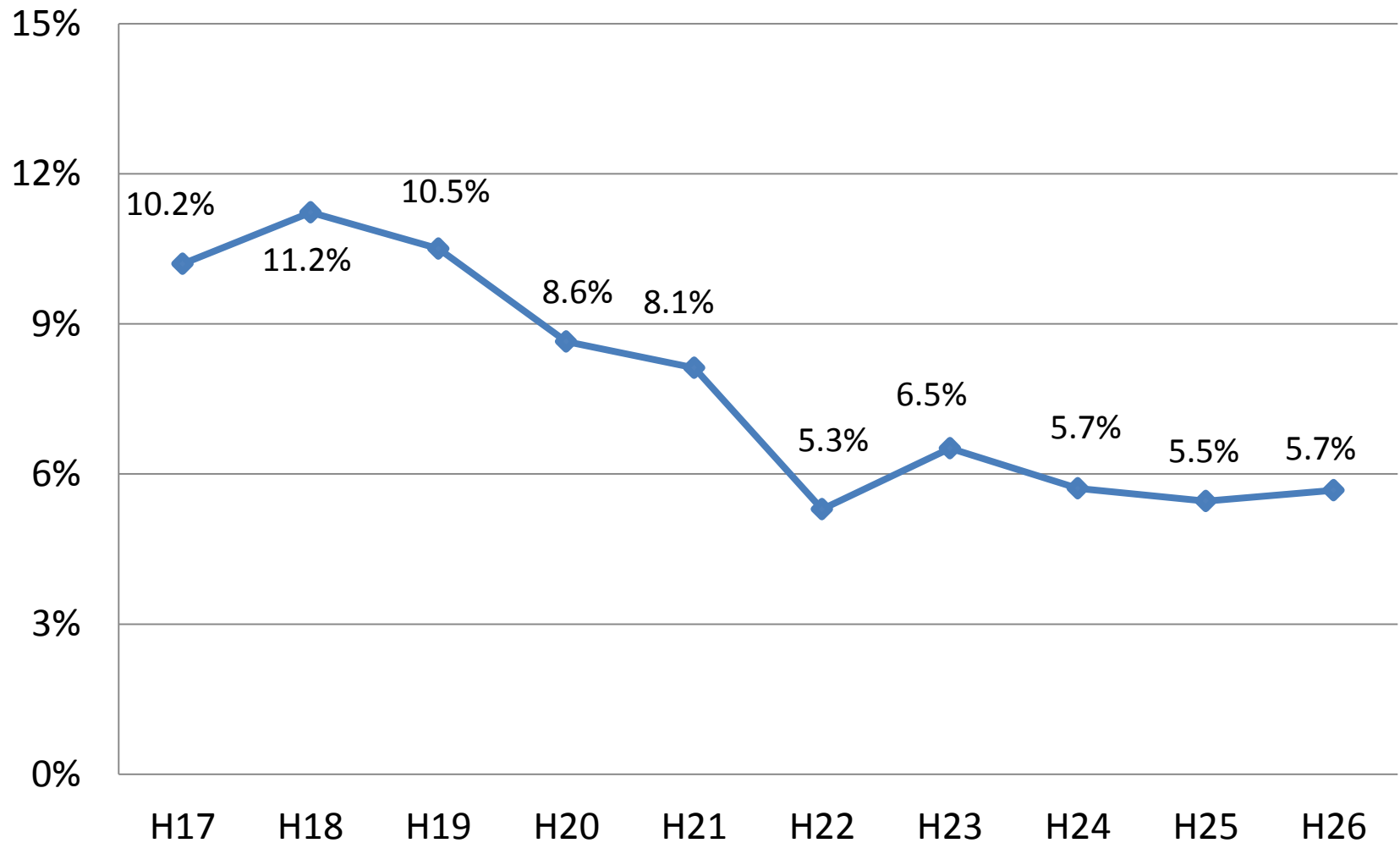
8. 妊産婦歯科健診受診者の所見・歯の状況(H26年度)

受診者の7割近くは要治療で、5割の者はいくらかの歯の処置が必要である。



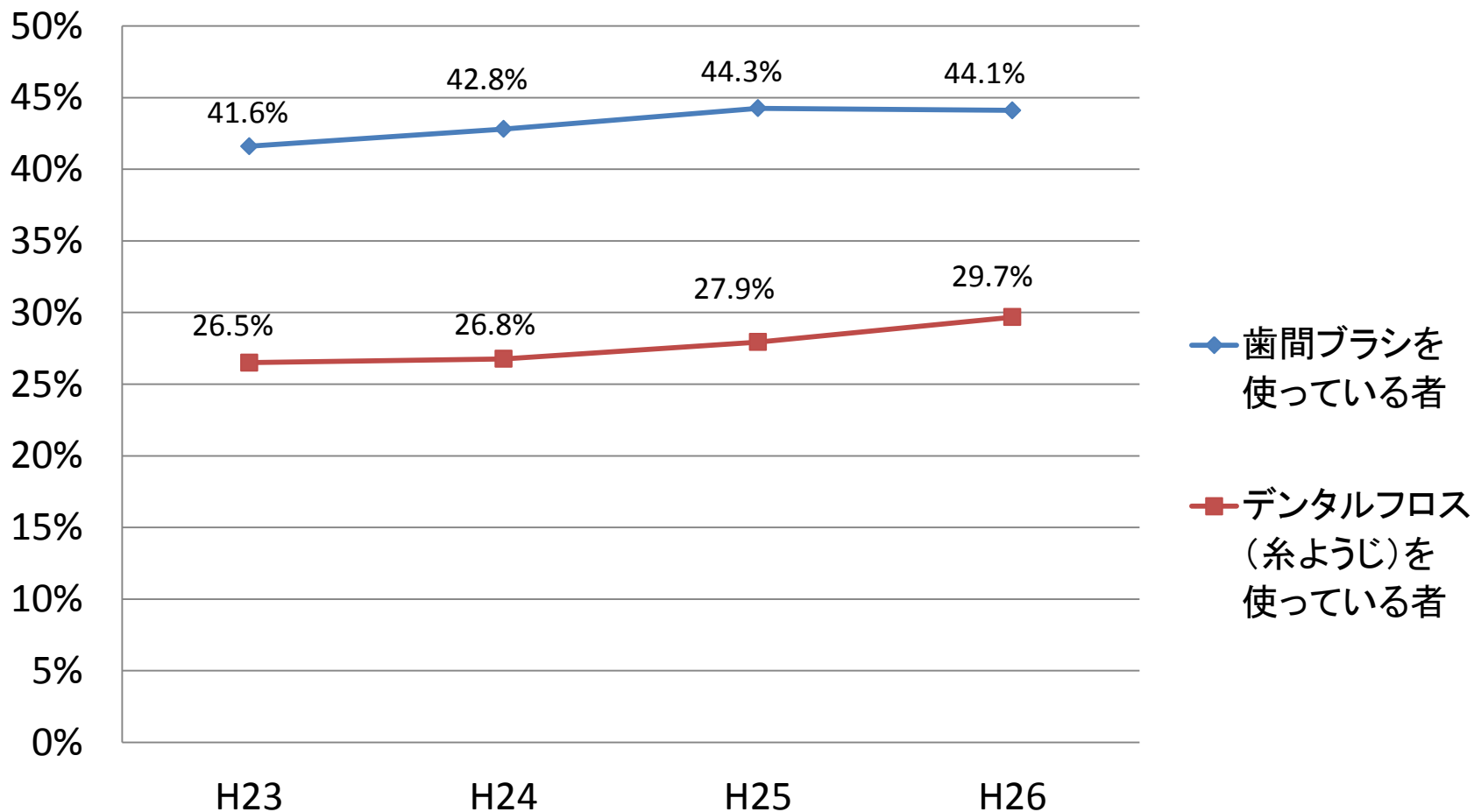
9. 歯周疾患検診受診率年次推移(H17～H26年度)

(対象年齢：40歳・50歳・60歳・70歳)



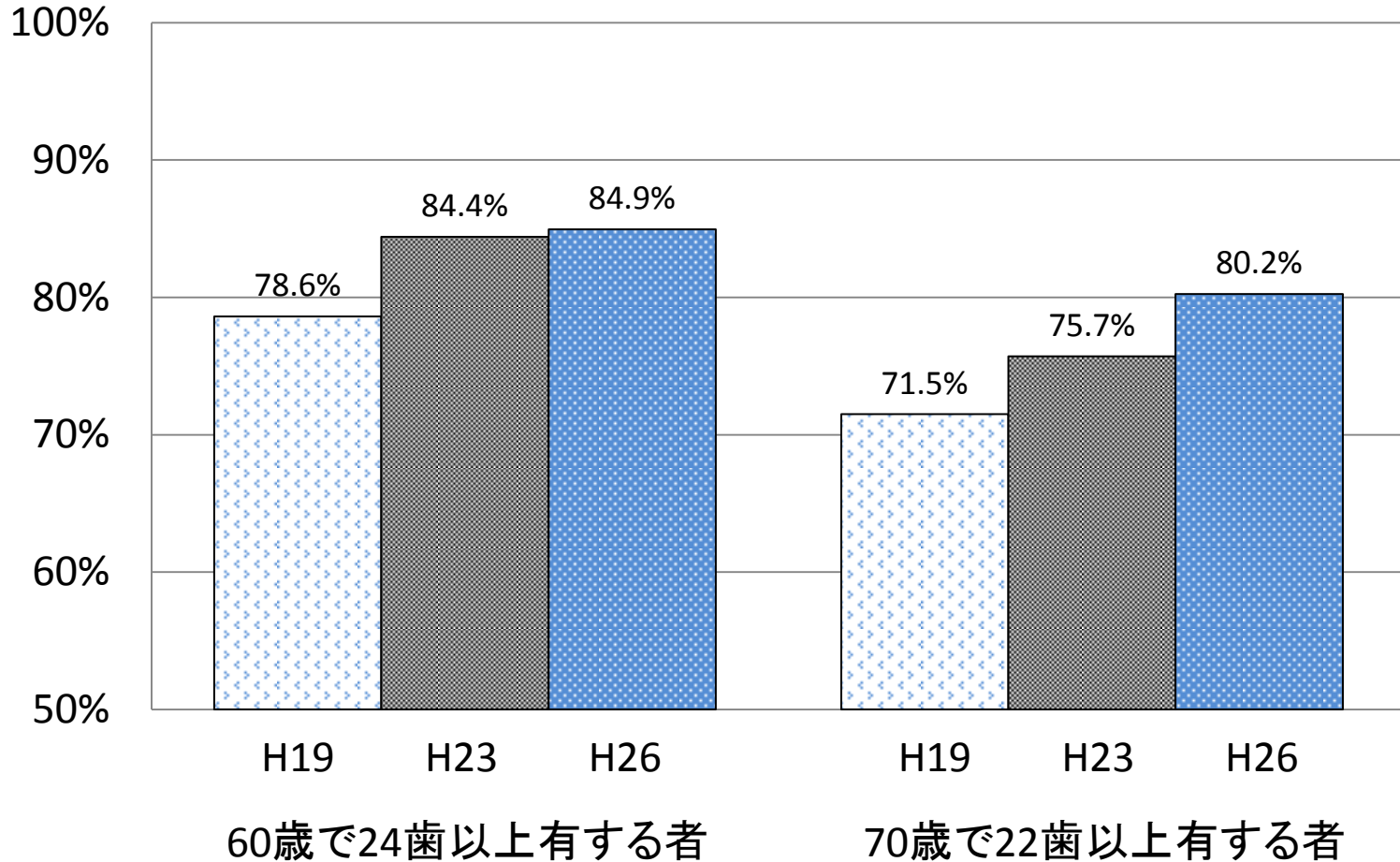
10. 歯間ブラシ・デンタルフロス使用状況の年次推移 千葉県歯周疾患検診の結果（H23～H26年度）

歯間部清掃用具を使用する人はわずかながら増加している。



11. 60歳で24歯以上・70歳で22歯以上有する者の割合 (H19・23・26年度比較)

自分の歯を持つ者が増加している。



※健やか未来都市ちばプランの目標

千葉県歯周疾患検診実績